活 動 プ ロ グ ラ ム

団体名（　　岡山県子ども会連合会　　）

１．事業内容

□	子どもたちの生活習慣や学習習慣の確立に関する活動
□	不登校（傾向）児童生徒対象の体験活動
☑	自然体験、生活体験、社会体験に関する活動
□	家庭教育支援に関する活動

※複数選択可

２．活動プログラム名

「　ニュースポーツ体験とバルーンアート体験　」

３．目　標（ねらい）

※プログラムを通して、参加者に身に付けさせたい力、はぐくみたい姿等
ニュースポーツを通じて運動することの楽しさを仲間と共に知り、集中しないと上手く出来ないことを自身で感じてもらいたい。バルーンアートでは風船で色々な物が作れる楽しさを通じて、仲間と共に創造力を膨らませて欲しい。

４．活動計画　　※対象者の活動及び活動実施に向けた研修会等を記載してください。

回	★目標 ・活動内容・対象・参加者人数・スタッフ人数・会場等	◆目指す参加者の姿 （評価方法）
第１回	★プログラム内容についての打合せを行い、参加者へどう関わるかをスタッフ全員が相互理解する。 ・活動内容→ニュースポーツ、バルーンアート ・対象→幼児～小学６年生の児童 ・打合せ回数→５回 ・打合せの人数→５人～６人	◆ニュースポーツ、バルーンアート体験の留意点や参加者への関わり方について共通理解することができる。
第２回	★ニュースポーツやバルーンアート体験を異年齢集団で行い、仲間と共に活動することの楽しさや心地よさを感じながら、子どもたち同士や親同士の関わりを深めることができるようにする。 ・活動内容→ニュースポーツ、バルーンアート ・対象→幼児～小学６年生の児童 ・参加人数→約１００名（予定） ・会場→早島町中央公民館	◆ニュースポーツやバルーンアート体験を異年齢集団で行う中で、仲間と共に活動することの楽しさや心地よさを感じ、子ども同士や親同士の関わりを深めることができているかを参加者の表情から読み取る
第３	★ ・	◆

回	・	

５．展　開

回 時間	内　容	準備物	留意点	◆目指す参加者の姿 （評価方法）
【第１回】 １０分	ニュースポーツ 【導　入】 ○内容説明・ねらいの確認 子ども・仲間と共に楽しむ 大人・子どもが仲間と楽しんでいること			
３５分	【活　動】 ○ニュースポーツ ディスゲッター ・異年齢グループを作る 大人と子どものグループ （事前申込者と当日申込者） ・ルール説明 ・活動プログラムの目標 大人が上級生の手伝いをし、上級生が下級生の手伝いをしながら楽しく行い、交流を深める ラダーゲッター ・異年齢グループを作る 大人と子どものグループ ・ルール説明 ・活動プログラムの目標 大人が上級生の手伝いをし、上級生が下級生の手伝いをしながら楽しく行い、交流を深める	・ディゲッター ・ﾋﾞﾆｰﾙﾃｰﾌﾟ ・ﾄﾞｯﾁﾞｰﾃﾞｨｽｸ ・ﾗﾀﾞｰｹﾞｯﾀｰ ・ﾋﾞﾆｰﾙﾃｰﾌﾟ	・進行→団体の役員 ・指導→講師 講師が大人を指導して大人が子どもを指導する ・進行→団体の役員 ・指導→講師 講師が大人を指導して大人が子どもを指導する	◆大人と異年齢の子どものグループがお互いに協力し合い、交流を深める ◆ディスゲッターの楽しさを感じる（行動観察・振り返り） ◆大人と異年齢の子どものグループがお互いに協力し合い、交流を深める ◆ラダーゲッターの楽しさを感じる（行動観察・振り返り）
５分 【第１回】	【振り返り】 ○ニュースポーツが上手く出来たか、感じた意見を話す バルーンアート		・子どもを中心に大人も一緒に意見を聞く	

１０分	【導入】 ○内容説明・ねらいの確認			
３５分	【活動】 ○バルーンアート ・異年齢グループを作る 大人と子どものグループ ・作り方の説明 ・活動プログラムの目標 大人が上級生を指導して上級生が下級生を指導しながら楽しく行い、交流を深める	・ﾊﾞﾙｰﾝｱｰﾄ用の風船 ・空気入れ ・ゴミ袋	・進行→団体の役員 ・指導→講師 講師が大人を指導して大人が子どもを指導する	◆大人と異年齢の子どものグループがお互いに協力し合い、交流を深める（行動観察・振り返り）
５分	【振り返り】 ○バルーンアートが上手く出来たか、感じた意見を話す		・子どもを中心に大人も一緒に意見を聞く	